

令和4年2月4日

学年閉鎖終了後の校長講話

生徒の皆さんおはようございます。

これから LHR の時間を使い、授業を再開するにあたってコロナのことなどの話をします。少し長くなってしまうかもしれませんが、大切な話をしますのでよく聞いてください。

さて、学年閉鎖が昨日で終わり、今日から学校を再開します。とはいっても、まだ多くの人が新型コロナウイルスに感染して学校を休んでいます。また、社会ではオミクロン株が猛威を振るい、感染者が爆発的に増えています。ですから、まだまだ油断はできません。

今さらですが、学級閉鎖や学年閉鎖とは一体何でしょうか。少し難しい話をすると、学校保健安全法という法律に書かれていて、感染症の予防に必要な時に行うものです。今回は新型コロナウイルス感染症が本校で広がりを見せたため、学年閉鎖を行いました。生徒の皆さんはしっかりと自宅学習に励み、日常生活に必要なこと以外では外出せずに、感染症予防に努めなければなりませんでした。それが、自分も含めて皆を守ることに繋がります。他校でも学級閉鎖や学年閉鎖をしている学校は今もたくさんあります。そんな他校の友達と感染の広がりを助けるような軽はずみな行動をしないようにしてください。また、もしまた本校で学級閉鎖や学年閉鎖をしなければならなくなったときは、絶対に不要不急の外出をせず、学校の友達とも会わないで自宅での学習に励んでください。誰かが感染すれば、必ずその誰かだけでなく、周りの誰かも困ります。感染すること自体は、仕方がないことです。誰もがいつ感染するかはわかりません。ただ、感染予防に気を付けていて、感染したのなら仕方がないのですが、不用意に感染リスクの高い行動をして、感染してしまったのなら、それはとても残念なことです。しかし、感染した人を責めたり、差別したりしては絶対にいけません。このことだけは、しっかりと心に留めておいてください。今の我が国の状況、兵庫県の状況、そして本校の状況は、とても感染が蔓延していて大変な状況です。感染予防をすることは、自分のため、友達のため、家族のため、社会のためです。目の前の人と自分自身を感染から守る、他の人のことを大切にできる思いやりのある優しい人でいてほしいと思います。

前置きが長くなりましたが、コロナに関してこれまでも何度か話をしてきましたが、あらたに、いくつかお話しますのでよく聞いてください。

まず、昨日のニュースで改めてマスクの効果を報道していました。ニュースを見た人も多いのではないのでしょうか。マスクが効果のあることはみんなよくわかっていますよね。でもあらためてどんなニュースだったかお話しします。

日本が誇る「富岳」という名前の世界1のスーパーコンピューターのシミュレーションで分かったコロナとマスクのことです。ちなみにスーパーコンピューター「富岳」は神戸のポートアイランドの理化学研究所にあります。世界1のコンピュータが兵庫県にあるのです。

話を戻しますが、「富岳」による計算では、コロナの感染者とマスクをせずに50cmの距離で15分会話したら100%感染するというものでした。50cmというのはだいたい皆さんの腕

の長さだと思います。つまり、もしも誰かが感染しているとして、50cm くらいつまり手の届く距離で、その人と一緒に話をしながらご飯を食べていたら、100% 感染するということです。では、マスクをつけていたらどうかというと、1 m 距離をとればほぼ感染する確率は0 ですが、たとえマスクをしていても 50cm くらいの距離だとオミクロン株の場合は感染確率が10%になるというものでした。15 分という時間で10%ですから、時間が長くなればなるほど感染リスクは高まります。つまり、オミクロン株の場合はマスクをしていても話をするのなら少なくとも 1 m くらいの距離はとるべきだということです。だから皆さん、マスクを外す食事の時、十分注意してください。学校では昼休みの食事の時です。少なくとも手の届かない距離で向き合わないで、同じ方向を向いて、黙って食事してください。今まで言われていた通りのことで、これまでもそうしている人がほとんどだと思いますが、あらためて向き合わないで同じ方向を向いて黙食することをこころがけてください。

もう一つ、昨日おとといあたりのニュースで、ウイルスの生存期間のことが言われていました。まだ、研究段階で確定ではないかもしれませんが、オミクロン株はプラスチックの上なら 1 週間近くあるいは 1 週間以上生きています。アルファ株は 3 日程度、デルタ株は 4・5 日でしたから、かなり長く生存しています。プラスチックとは合成樹脂のことで、皆さんの今、目の前にある机の表面も合成樹脂で覆われています。お店に入った時、店員さんがしっかり消毒していないと、直前に同じ席に座っていた人がもしも感染者だったら、ウイルスがテーブルに付着しているということもあるかもしれませんね。そんなことにも気を付けながら生活するのは大変ですが、コロナが蔓延している今は気を付けた方がよいでしょう。

次の話に移ります。今回、残念ながらコロナに感染してしまって、苦しい思いをした人がいましたね。一方で陽性になったけど、ほとんど症状が出なかったという人もいましたね。どちらの人も、陽性になったために、同居している家族の人は濃厚接触者となってしまって、仕事に行けなかったり学校に行けなかったりして、大きな影響が出たのではないのでしょうか。社会は今、そんな人がたくさんいて、とても困っていますね。スタッフ、従業員が休まないといけなくなって、仕事ができなくなるなど、とても困っている企業や病院、お店がたくさんあります。コロナに感染すると、症状が出て苦しいということ以外に、そんなとても困ることが起こるということです。コロナにかかっていない人は、どんな影響が出るか想像してみることは大切です。また、すでにかかってしまった人は、再び感染したらどうなるか、もう一度、感染した時のことを思い起こしておきましょう。

さて、新型コロナウイルスはオミクロン株が流行するようになって、軽症で済むからそんなに怖くないとか、インフルエンザとそんなに変わらないとか、ただの風邪だとかいう人がいますね。本当でしょうか。

確かに、デルタ株の時と比べて重症になる人は今のところ少ないようですが、それはもしかするとこれまでの感染者が比較的若い人だったからかもしれません。今、じわじわと重症者が増えてきているようです。これから、お年寄りの感染が増えたりすると重症者が増えるかもしれません。軽症で済む割合が高いとしても、感染者が増えれば、病気である以上、一定の重症者や死者が出るのは当然のことではないのでしょうか。

陽性になった皆さんの中に、後遺症が出ている人はいないでしょうか。軽症で済んだ場合でも後遺症が残ることはあるようで、重症になった人よりむしろ軽症の人のほうが後遺症の残る割合が高いという研究もあるようです。だから、軽症で済むからといって安心はできません。

私は、何十年も生きてきましたし、長い年月、教師をしてきましたが、今回本校で起きたような、感染者がこんな急に増えたことは経験したことはありません。普通の風邪やインフルエンザとそんなに変わらないとは、私にはとても思えません。

ところで、高齢者や基礎疾患のある人は重症化したり死亡したりするリスクが高いとよく言われていますね。なぜだか、考えたことはありますか。高齢者や心臓病・糖尿病などの基礎疾患のある人は、若い健康な人より、体力がなかったり、体に弱いところがあったりするからでしょうね。生徒の皆さんは間違いなく若いですね。でも、体に弱いところのある人は結構いますよね。毎年春に行う検診で何か検査が必要だとか言われた人は結構たくさんいますよね。本当にみんな軽症で済むでしょうか。また、検診では何も言われたことはないという人も、いつもいつもずっと体の調子はいいですか。体の調子が悪いときはありませんか。数日前、ニュースでノロウイルスが神戸で流行しているというものがありました。ノロウイルスに万一感染したら、嘔吐や下痢、発熱などの症状が出ます。若い皆さんでも、体力が奪われますね。そんな時に、コロナウイルスに感染してしまったらどうなるでしょうか。若い皆さんで基礎疾患のない人であっても、お年寄りや基礎疾患のある人と同じ状況になるとは思いませんか。だから、確率に違いはあるかもしれませんが、重症化するリスクは誰にでもあると思います。自分は絶対に重症化しないなんて思わない方がいいです。世の中に絶対ということはまずありません。

次に、始業式の時に話したワクチンの話の続きをします。感染してしまった人は、感染して免疫ができたから、もう3回目のワクチンは打たなくてもいいや、とか考えていませんか。確かにウイルスに感染すれば、免疫はできます。でも、必ず十分な免疫ができるとは限りません。軽症で終わった人ほど、十分な免疫ができていないことがあります。

また、コロナウイルスに関する研究では、感染したことによりできた免疫と、ワクチンによる免疫では違いがあるとされています。先ほど言ったように、実際に感染した場合はうまく免疫ができないことがあるようです。またワクチンの方が、免疫が長持ちするともいわれています。さらに、感染による免疫は同じ株に対しては有効でも変異した株には有効でないことも多いようです。ワクチンの場合はある程度変異した株にも有効です。さらに、重症化を防ぐ効果もワクチンによる免疫のほうが高いようです。インフルエンザの予防接種を受けたが、その冬に流行している型と違う予防接種だったのでインフルエンザにかかってしまったけど、軽くて済んだという話を聞いたことがありますか。一般的に予防接種・ワクチンはある程度変異した株にも対応するようです。

まとめると、自然に感染したことのできる免疫よりもワクチンによる免疫の方が長持ちし、変異に対応するなど、どうやら良いことの方が多いようです。また、自然感染の方が、免疫ができないことがワクチンの時よりも多いようです。

ワクチンの交接種についてのこともお話しします。交接種とは1回目と2回目、あるいは1回目2回目と3回目で異なるワクチンを打つことです。3回とも同じワクチンを打った場

合、3回目を接種する前と比べた抗体量は、ファイザー3回では20.0倍、モデルナ3回では10.2倍に上昇します。一方、「ファイザー・ファイザー・モデルナ」の交互接種は31.7倍、「モデルナ・モデルナ・ファイザー」は11.5倍と、より多くの抗体価の上昇を認めます。つまり、1回目2回目と3回目を同じワクチンで打ってもいいけど、違うワクチンを打った方が免疫の力がより強くなるということです。また、副反応が比較的強いとされていたモデルナワクチンも今回はこれまでよりも日本人に合わせて量を少なくしているようです。これまで言われていたほどの強い副反応は出にくいかもしれません。専門家の多くは、ファイザーかモデルナかとかのワクチンの種類はあまり気にしなくてもよい。それより早く打つことの方が大切です。と言っています。

最近感染してしまった人はいつワクチンを打てばよいかと言うことを話します。アメリカの疾病対策予防センター（Centers for Disease Control and Prevention: CDC）という公的機関は感染から治癒した後90日くらいは明けてからワクチンを打つことを推奨しています。日本の厚生労働省もそれにならって90日くらい空けた方がいいとは言っていますが、すぐにワクチンを打ちたい人は90日待たなくても大丈夫だとも言っています。また、WHO国際保健機関（World Health Organization）は「科学的・生物学的な観点からは完全に回復した時点で接種できる」としています。なお、CDCも厚生労働省もWHOも、感染した人もワクチン接種することを勧めています。

この先コロナウイルスはどうなるのでしょうか。ウイルスや細菌などの生物に寄生するものは、基本的に寄生する生物（宿主（しゅくしゅ）といいます）と共生します。共に生きています。ウイルスなどが寄生する生物を絶滅させてしまうと、ウイルスなど自身が寄生する生物がいなくなり、ウイルスたちも絶滅してしまうことになります。ですから、ウイルスなどは基本的に宿主を殺さない程度に弱毒化する変異の方向に進むことが多いです。ただ、インフルエンザのように変異を毎年繰り返しながら、それほど弱毒化しない場合もあります。コロナウイルスがどのような方向に進むかはまだわかりません。オミクロン株よりもさらに弱毒化して、あまりヒトに害を及ぼさないようになってくれたらありがたいのですが、まだわかりません。もしかしたら、さらに強力で重症化させる力を持った変異株が出現しないとも限りません。だからこそ、変異にも強いワクチンを打った方がよいのではないかと私は思います。これまで2回ワクチンを接種した人で3回目のワクチンをどうしようか考えている人がいるかもしれません。今は軽症で済むといわれている変異株ですが、この先、毒性の強い変異株がもし出てきたら、とか考えると、3回目を打っておいた方がよいのではないのでしょうか。強毒性の変異株が出てきたときに、あとであの時ワクチンを打っておいた方が良かったとにならないとも限らないから。3回目のワクチン接種は日本も含めていろいろな国が推奨しています。打ちたくても打てない人は仕方ないのですが、そのような人を守るためにもワクチンを打てる人はどうすべきかよく考えてほしいです。

今、コロナに関して、ニュースや情報番組でいろいろな人がいろいろな意見を言っています。皆さんは、いろいろな意見を聞くと、その意見を言っている人はどういう立場の人なのか。たとえば、経済を重視する立場の人なのか、そうでないのか。普段からどういう考えを持っ

ている人なのか。たとえば、普段から政府に批判的な人なのか、普段から政府寄りの発言をしている人なのか、などです。何が正しくて何が間違っているということはないかもしれませんが、一つ言えることは、皆さんはまず、自分や家族、友達、身の周りの人の命や生活を守るためにどうしたらいいかを、最優先に考えるべきだということです。皆さんは今、政治家でも評論家でもありませんね。大きく社会としてどうしたらいいのか考えることはとても大切なことですが、その前に皆さん個別の健康や命のことが最も大切です。実際に皆さんがどういう行動をとるべきか、よく考えてください。

最後にもう一度、

- * ノーマスクだと手の届く距離の50cmで100%感染します。マスクを外す食事の時は黙食をしてください。
- * ワクチンは有効です。感染した人も含めて3回目接種を世界各国は推奨しています。
- * 今は感染がとても蔓延しています。感染していない人はもちろん、感染したという人も、感染リスクの高い行動は控えてください。特に明日あさっての土日、学年閉鎖が終わったからと言って、人がたくさんいる場所へ行ったり、5人以上で会食したりすることは、できるだけ控えてください。不要不急の外出をしないでください。感染リスクの高い行動をしてもし、自分を含めて大切な人に何かあったら、ということを想像してください。

感染の危険が増して、とても大変な時期です。こんな時だからこそ、みんなで力を合わせてこの苦しい時を乗り切りましょう。

以上で終わります。